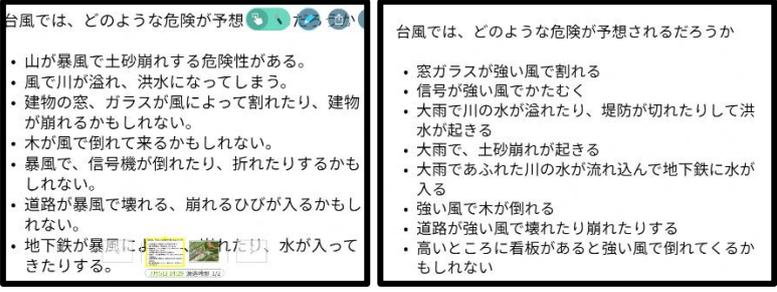
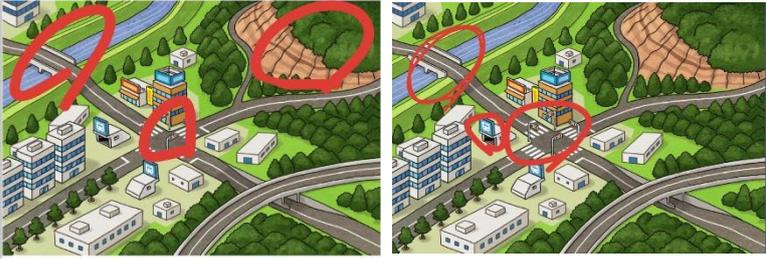


- (1) ねらい 台風による災害や災害に対する備えについて調べ、これまでに学習したことも生かしながら、災害に備えることの重要性を考えることができる。
- (2) 評価規準 台風による災害や災害に対する備えについて調べ、これまでに学習したことも生かしながら、災害に備えることの重要性を考えている。
- (3) 学習展開 (1/2)

過程	学習活動	教師の指導・援助(留意点)
導入	1 課題提示 課題 台風では、どのような危険が予想されるだろうか。	
展開	2 危険を予想する。 *個人の予想をロイロノートのテキストカードに入力し、提出箱に提出する。  *ペアで交流した後、さらに意見を追記する。 *提出箱に出された意見を提示しながら、全体で交流する。	・テキストのフォーマットを統一し、一覧したときに分かりやすいようにする。 【ICT活用の工夫】 ・自分で意見を書くことが難しい児童は提出箱を閲覧し、仲間の意見を参考にして予想を書く。
終末	3 具体的な危険個所を検討する。 *デジタル教科書の資料を用い、具体的な危険個所をマークする。  *ロイロノート上で資料を提出し、その理由と共に全体で交流する。	・台風による強風で倒れた鉄塔や、大雨で氾濫した河川の写真を提示しながら。児童に具体的な危険を想起させる。
	5 まとめ *交流した意見をもとに私たちが住んでいる地域に台風が近づいたとき、どのような危険があり、災害が起きるかを想定し、テキストに記述する。	【ICT活用の工夫】 ・マーキングの機能を用い、自身のデジタル教科書に直接書き込む。 ・特に全体で検討したい箇所や内容については、スクリーンに提示し、直接ポインターで示しながら児童が説明するようにする。 ・低地であるという地域の特色を踏まえ、過去の事例等を紹介しながら地域に起こりうる災害を予想させる。 ・早く書けた児童に対しては、どんな対策をとるとよいかを考えさせる。